

はじめに

金沢大学附属中学校
校長 諸岡康哉

現代社会は、年々多様化しグローバル化が進んできています。また、社会の変化も速く、国をはじめ様々なレベルで時代に対応した教育政策、教育改革が進められてきています。昨年3月には小中学学習指導要領、幼稚園教育要領が改訂・告示されました。ひきつづき「生きる力」を育てていくことが求められています。本年度からすでに一部の教科では前倒しで実施されています。

今回の改訂の特徴は、新「教育基本法」新「学校教育法」の趣旨を色濃く反映していると共に、この間、議論の続いてきた日本の子どもの学力をどうつけていくかについても方向性を明らかにしています。2000年から始まったPISAの国際学力調査の結果なども踏まえて、「生きる力」につながっていく学力形成をめざして教科の内容・方法の改革が盛られています。しかし、そのことが、実際の授業実践ではどのように展開されるのかはまだ十分に明らかではありません。2012年の全面実施を前にして、実際の授業実践のあり方を探る取り組みが全国の中学校ではじまったと言えます。

本校では、今年度から研究主題を「新学習指導要領実施に向けて」に設定しました。新学習指導要領のなかで時代に求められる学力をつけていくキーワードとされている、「習得」「活用」に着目し、「習得・活用を意図した授業のあり方」を中心に研究を進めていくことにしました。幸い、本校は附属学校であるため、金沢大学学校教育学類の先生方と共同の研究体制をもっております。それぞれの教科を専門的に研究している学類の先生の知見を十分に研究に取り入れ、指導も受けつつ私たちの実践的見地からの提案も共同して議論してきました。このテーマでの研究は本年度がスタートとなります。各教科では、学類の先生の提案を受け実践を進めてきています。初めての試みとして各教科で学類の先生から講演をしていただくことにもしています。ぜひ、参加される先生方も講演をお聞き下さい。また、いままで取り組んできた私たちの授業の一端も公開しますので、その後の分科会では忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

最後になりましたが、教育研究発表会の開催にあたり、ご支援をいただきました石川県教育委員会、金沢市教育委員会に対し厚くお礼申し上げます。また、各教科別等分科会で司会者及び共同研究者をお引き受けくださいました公立中学校及び金沢大学学校教育学類の諸先生方に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月20日